

令和7年度学校自己評価成果と課題

教務部	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑により多くの教室が高温になったことから、空調設備のある特別教室を順番で利用し、できうる最善の教育環境の提供に努めることができた。 ・授業公開や教員向け研修など、授業改善につなげる取組を着実にを行い、指導力の向上につなげることができた。 ・創立50周年記念事業を予定通り行うことができた。 ・特別な配慮が必要な生徒への合理的配慮を教職員間で共有し、個に応じた教育環境の提供を行うことができた。また、対応について適宜必要な修正や見直しを行うことができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の気象環境に対応できるよう、校内設備の改善を要望するとともに、現実的な対応を検討したい。 ・最大5日間にわたる定期考査や総合学習などの計画について、生徒の負担や学習効率を考慮し実施日程などを十分検討したい。 ・観点別評価の在り方についてより生徒の学習状況を正しく評価できるよう、研究、検討を継続したい。
進路指導部	成果	進路計画に基づき、進路行事・講習・進路情報の発信ができた。
	課題	生徒に学習する重要性をより一層説くことで学習時間を確保させるよう努めた。
生徒指導部	成果	多くの生徒が爽やかな挨拶が出来るようになったり、時間や決まり事を遵守する意識が高まってきた。引き続き声かけを行っていききたい。
	課題	SNSに関するトラブルや、高校生として不適切な振る舞い等が見受けられる。クラス、学年、学校全体として根気強い声かけや意識啓発に取り組む姿勢が必要である。
生徒会部	成果	創立50周年の記念行事の企画・準備・運営において、例年以上に生徒一人ひとりが生き生きと活動することができた。具体的には、体育祭においては、チーム決めや種目の設定など、年度当初から動きを活発化させ、イメージ以上の成功を収めた。文化祭においても、各クラス、団体の企画内容やキッチンカーも昨年度にまして充実し、創立50周年記念行事に相応しい内容であった。
	課題	<ol style="list-style-type: none"> ① 今年度同様、各行事の準備期間を十分に確保できるように、配慮すること。 ② 物価高等に対する対応を念頭に、生徒会費の運用について検討を重ねていく。 ③ 生徒会新聞、生徒会誌における原稿入稿のデジタル化が定着するように、マニュアル化やセキュリティー面の検証等を重ねていく。
施設保健部	成果	<p>生徒の健康管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断、身体測定を予定通りに行った。 ・健康観察や健康管理を促した。 ・体調不良や怪我に適切に対応し、処置をした。 <p>学校施設の整備と美化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃計画を立て、毎日の清掃を通じた校内美化に努めた。 ・必要に応じ、大清掃やワックスがけ等を立案した。 ・様々な値上がりに対し、予算内で収まるよう物品購入した。 ・避難訓練や救急法実技講習会を行った。 ・保健室二人体制になり、生徒への充実したサポートができた。
	課題	・インフルエンザ感染が多く見られた。予防の重要性について声かけを続ける必要がある。

	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃用具や消耗品類の購入に関し、予算内でできる限り補充したが、物品の値上げや清掃箇所によっては新たな用具を要望する声もあり、それに応えるには予算を配分してもらう必要がある。
教育情報部	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システムにおける他の分掌との役割分担が明確にできている。 ・生徒用タブレットに関して年度初めの一斉配付と卒業生からの回収はスムーズに行えた。また故障や様々なトラブルへの対応法もある程度整理できている。 ・欠席等連絡の Web 入力システム、Classroom、Meet や Form など、授業やホームルームで有効に使われている。 ・生徒用タブレットの破損に対する注意喚起および修理費負担のアナウンスを徹底した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は ICT 機器を使用する際に、下記のような多くの制約を受けており、業務に支障をきたしている。ネットワーク設置者に働きかけていく必要がある。 学習支援システムでは同時接続数に限りがあり朝学習などで利用できない。 校務支援システムでは当初教室で出欠入力ができるはずであった。 Google Workspace へのアクセスできえインターネット分離やファイル無害化が必要であり煩雑である。 Excel のマクロなど管理職への許可が必要な点も問題である。 ・教師用タブレットの台数が充実してきたが、全員に行き渡るまであと数台不足している。 ・修理について本体 32 件、キーボード 50 台が申請された。また破損による購入をコード 40 本など今年度は費用が多くかかっている。使用 5 年が経過し経年劣化による破損などは年度以降も続くと予想される。
1 学年	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な悩みやストレスを抱える生徒に対し、カウンセリングや面談を通してフォローすることができた。 ・行事や講演において、積極的に取り組む姿勢の向上やおちついて話を聞く態度が見られた。 ・進路講演会や上級学校見学を通じて広い視野や進路への意識付けを持たせることができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣が確立されておらず、1 日の平均学習時間が少ない生徒が多い。 ・課題や提出物の締め切りを守れない生徒が多い。 ・対人関係についてストレスを感じ、長期欠席するものが見られた。新年度のクラス替えに伴う人間関係の構築に配慮したい。
2 学年	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導を進める中で、意識の変化や学習への取り組みの変化が見られる生徒がみられ、模擬試験前の学習や試験後の復習を含めた振り返り等、これまでになく積極的な姿勢を示す生徒も現れた。 ・学励クラスの県外大学視察では、多様な学問を知るとともに学生生活について想像することで、進路先として県外も選択肢として捉えるようになった。 ・修学旅行を通して文化や自然の多様性について学び、他者への理解や思いやりの大切さについて考える生徒が増えた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習への取り組みに生徒により大きな差がでてきた。登校指導とともに朝学習への姿勢について継続して改善を促したい。 ・自己管理（貴重品管理、提出物の締切り遵守等）の意識を徹底できなかったため、継続して指導していきたい。 ・家庭学習時間が少ない生徒が多く、早めの志望先の決定を促すことで学習習慣の形成を図りたい。

3 学 年	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭、文化祭、50周年記念行事等の学校行事に意欲的に取り組んだ。 ・ 大学受験を目指す生徒に模試と共通テストの受検を義務づけ、共通テストは感染症罹患者を除く142名が受検した。 ・ 小論文・面接指導にきちんと取り組み、受験に臨むことができた。 ・ 学年末成績において、欠点保有による追認者がいなかった。 ・ 精神的不安定な生徒が複数いたが、担任面談やSCと繋がることで全員が卒業できた。 ・ いじめなど人間関係のトラブルがほとんどなかった。 ・ 進路関係の指導を多く実施したことで、多くの生徒が希望進路を見据えて学習に望むことができた。 ・ 出席率は高くはないものの、大多数の生徒は意欲的に学校生活を送ることができ、3年間皆勤生徒7名を始め、皆勤に近い生徒も多数いた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路決定後の遅刻欠席が増加し、度々学年集会を開いたが特定生徒の改善が見られなかった。また、欠時数がギリギリになって遅刻欠席をしなくなった生徒もいた。 ・ 学習意欲や成績不振ながら大学を希望する生徒も少数おり、現状の学力と志望進路のギャップが大きく、進路指導に苦勞した生徒が複数いた。 ・ 3年間を通じて、朝学習の取り組みや隙間時間の学習に対しての指導に苦慮し、学習時間や学習量の増加にはつながらなかった。 ・ 総合型選抜の合格者が思っていたよりも上がらず、学力向上の必要性や面接時の表現力向上などに課題を残した。 ・ タブレットやスマホの不正利用が多く見られた。 ・ スケジュール管理が甘く、提出物やアンケートの締め切りが守られなかった。